

平成23年度第4回キッズ・モニターアンケートの実施報告について

「子ども条例について」キッズ・モニターアンケートを実施したところ、その結果は、下記のとおりでした。アンケートにご協力いただいたキッズ・モニターのみなさまにお礼を申し上げます。

アンケート概要

1 アンケート実施期間

平成23年10月17日から平成23年10月30日まで

2 意見募集の結果

- ・対象者数 289人
- ・回答者数及び回答率 160人(55%)

アンケート結果について

Q1 あなたの年代についてお聞きします。

アンケート回答者の属性は、小学生85人(53%)、中学生54人(34%)、高校生21人(13%)でした。

Q2 「三重県子ども条例」ができたことを知っていましたか。

条例ができたことを知っていたのは37名(23%)であり、77%のモニター123人は、条例を知りませんでした。

属性別に内訳を見ると、

- ・小学生85人：知っていた15人(18%)、知らなかった70人(82%)
- ・中学生54人：知っていた14人(26%)、知らなかった40人(74%)
- ・高校生21人：知っていた8人(38%)、知らなかった13人(62%)

小・中・高と学校があがるほど条例の成立を知っています。

Q3 条例を知っていた人が、条例を知るきっかけとなったものは何ですか。

条例ができたことを知っていた37人が、知るきっかけとなったものは、「学校などでポスターを見た」がもっとも多く27%、次に「ホームページを見た」19%、「学校の先生からきいた」「新聞の記事や広告を見た」がともに14%でした。こども局が小学校経由で保護者に配付している「子育て・子育て応援通信」で見たと回答した人は0であり、子どもは読んでいないことを示しています。

属性別に、きっかけを見ると学校で掲示されたポスターがもっとも多いです。

- ・小学生15人：学校ポスター5、新聞3、先生3、親姉弟1、ホームページ1、ラ

ジオ1、テレビ1

・中学生14人：学校ポスター4、ホームページ4、新聞2、県政だより1、ラジオ1、駅1、先生1

・高校生8人：ホームページ2、ラジオ2、学校ポスター1、先生1、友だち1、駅ポスター1

Q4 あなたが自分の気持ちや考えをあらわす機会としてやってもいいと思うことは。

「地域や学校で身近な人たちと協力してやりたいイベントにとりくむこども会議」がもっとも人気があり回答者160人の48%が選んでいます。次に「とどけ！こども会議」と図画作品や演奏の発表会が56人(35%)、みんなでかんがえる会に49人(31%)でした。

「その他」の回答では、パソコン上での意見交換や、折り紙などで地域の人を励ます会などがありました。

Q5 あなたが社会や大人のこともっと知ったり、子どもと大人がおたがいに大事に思いあえるようになったりする機会として、やってもいいと思うことは。

いろんな職業や会社の人と会って、仕事を体験するチャレンジタウンがもっとも人気があり、109人(68%)、会社や工場見学が87人(54%)、親子で参加する工作体験などのイベントが39%でした。次に、おじいさんから昔のあそびや生活の様子などを教えてもらう51人(32%)、ありがとうのメッセージ作品コンテストが41人(26%)。

大人や社会を知ることができる発見のおもしろさがある体験型行事が好まれているようです。「その他」の意見では、自分の親がしている仕事を知って、大変さやすごさを知る機会や、地域活動への親子での参加、農業体験、発明教室など、分野はさまざまですが、体験型である点が共通しています。

Q6 条例についてのやさしい読み物をつくったら読みますか。

「ぜひ読みたい」26%、「読んでもいいと思う」48%の、あわせて74%の人が、子ども条例に関する読み物を読んでほしいと回答しています。

属性別に内訳を見ると、

・小学生85人：ぜひ読みたい23人+読んでほしい44人=67人(79%)

・中学生54人：ぜひ読みたい14人+読んでほしい24人=38人(70%)

・高校生21人：ぜひ読みたい5人+読んでほしい9人=14人(67%)

小学生の8割近くが興味を示しました。

Q7 子ども条例を、大人に知ってもらうためには、どうすると良いですか。

自由記述で85人から意見をいただきました。新聞テレビなどのメディアを使って広報する(39人)、チラシや冊子を配付する(23人)が多い回答でした。ほかには、

イベント（講演会を含む）で知らせる、話す、ポスターを貼る、子どもから大人に言うという意見がありました。

Q8 子ども条例を、子どもたちに知ってもらうためには、どうすると良いですか。

自由記述で92人から意見をいただきました。多かった意見は、チラシや冊子を配付する30人、学校で先生が話す、授業で教える27人でした。

Q9 子ども条例のことや、大人にしてもらいたいことなどは。

56人から意見が寄せられました。

(1) 子ども条例に関すること

条例の理解についてのものでは、「難しい、内容がわからない」が7人、「教えてほしい」が7人。「広報して、たくさんの人に知ってもらいたい」9人でした。

また、大人に対しては、「子ども条例を守ってもらいたい。責任をもって運用してほしい」という意見がありました。

(2) 大人に望むこと20人

生活環境などの整備に関する意見として、「安全で安心できる街にしてほしい」、「勉強しやすい環境を」、「公園を増やして欲しい」という意見がありました。

大人との信頼関係や意思疎通に関するものでは13人から、「子どもの言うことに耳を傾けてほしい」、「いつまでも子ども扱いしないでほしい」、「子どもの行動を理解してほしい」という意見が寄せられました。

まとめ

アンケートの結果をまとめると、次のようになりました。

- ・4月1日から施行された「三重県子ども条例」を知っていたモニターは、10月末現在3割に達しませんでした。周知に役立ったのは、学校に掲示したポスターでした。
- ・子どもたちは、子ども条例の内容を知りたいという興味があるので、条例をやさしく解説したものがあれば、子どもたちに読んでもらえそうです。
- ・大人への意見では、子どもへの理解を求める要望が多くありました。

子ども条例ができたこととその内容を多くの方に知っていただくため、配布物やメディアを活用して、本年度末まで引き続き広報に取り組みます。

キッズ・モニターのみなさん、アンケートに回答してくださり、ありがとうございました。